

第21回環境展」特別企画

国立研究開発法人産業技術総合研究所協力講座

海と雲と 地球を冷やす 藻

「第21回環境展」を記念して、産業技術総合研究所より日本南極地域観測隊に参加して南大洋、あるいは小笠原諸島父島などで微小粒子の観測研究を行ってきた古賀聖治主任研究員を講師にお招きします。

講演会においては、観測データから明らかになった雲の形成における藻類と微小粒子との関係や微小粒子が大気環境に与える様々な影響を理解することは将来の地球環境の正確な予測につながります。

今年の秋は、えこぴよんと地球環境問題に関する最先端の研究に触れて最先端の「地球」の謎に迫りましょう。

2020.11.9(月)14:00-15:00

法政大学市ヶ谷キャンパス
ボアソナードタワー26階 A会議室(30名募集)

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて実施方法が変更になる場合がございます。

【講師】

国立研究開発法人産業技術総合研究所
環境創生研究部門・環境動態評価研究グループ

古賀 聖治主任研究員

【申込方法】2020年11月5日(木)迄に環境センターにE-MAILにて学部・学年・氏名をお知らせ下さい。

参加された方には、「えこぴよん」特製のマイ箸を記念に進呈致します。

えこぴよんと最先端の「地球」の謎に迫る一日

関連するSDGs



法政大学は、「持続可能な地球社会の構築を目指す拠点」としてSDGs(持続可能な開発目標)の重要課題と関連づけて取り組みます。

2020年10月 法政大学環境センター

TEL:03-3264-5681, E-MAIL:ickankyo@hosei.ac.jp